

6 合併市町の課題について

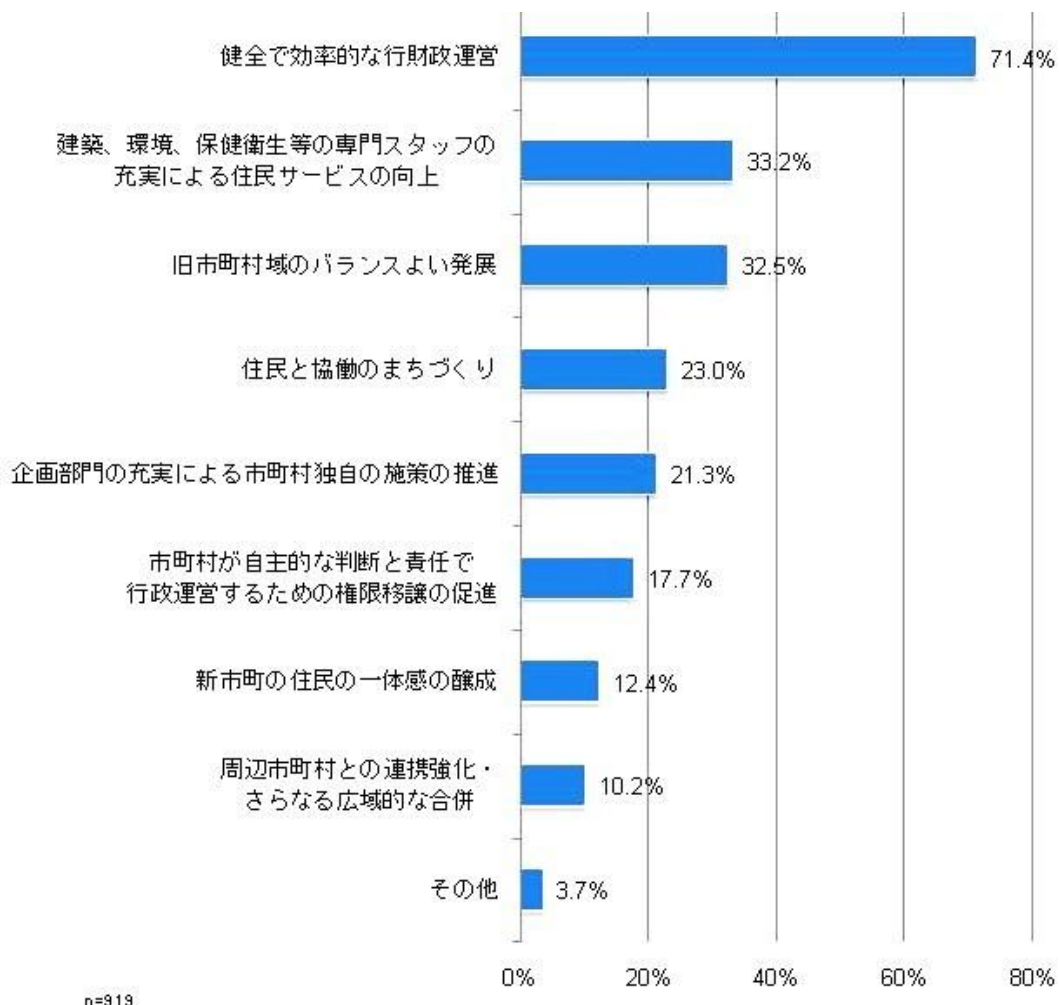
- 今後市町に望むこと：「健全で効率的な行財政運営」（71.4%）
 - ⇒ 行財政改革への更なる取組が必要
- - ・ 合併してよかったと思うか：「どちらともいえない」（30.3%）
 - ・ 合併の効果は現れているか：「わからない」（35.8%）
 - ・ 地域の声は反映されているか：「反映されていない」「あまり反映されていない」（32.3%）
 - ⇒ 地域住民とのコミュニケーションの拡大・協働の促進が必要

（1）行財政改革への更なる取組

「埼玉県県政サポーターアンケート」によると、【今後市町に望むことは何ですか】との問いに対して、「健全で効率的な行財政運営」との回答が71.4%にのぼり、地域住民にとって合併市町の行財政運営が大きな関心事であることが分かる。

図表 25

質問：今後市町に望むことは何ですか？（あてはまるものすべて）



事務の効率化や財政面での効果については、全県的に見れば一定の成果が上がっているものの、各合併市町にあっては、効率的な事務執行や財政基盤の強化による合併効果の向上に、引き続き注力していく必要があると考えられる。

なお、その際に留意すべきポイントの一つとしては「公共施設の整理・統合」が挙げられる。

複数の市町村が合併したことで公共施設が重複することとなったが、その整理・統合が進んでいない状況がある。「平成21年度埼玉県合併市町連絡調整会議」でも多くの合併市町がこの点を課題として挙げており、サービスの向上や統合施設の機能充実等を併せて実施するなどして、地域住民の理解を得つつ、公共施設の整理・統合を実施していく必要があると考えられる。

(2) 地域住民とのコミュニケーションの拡大・協働の促進

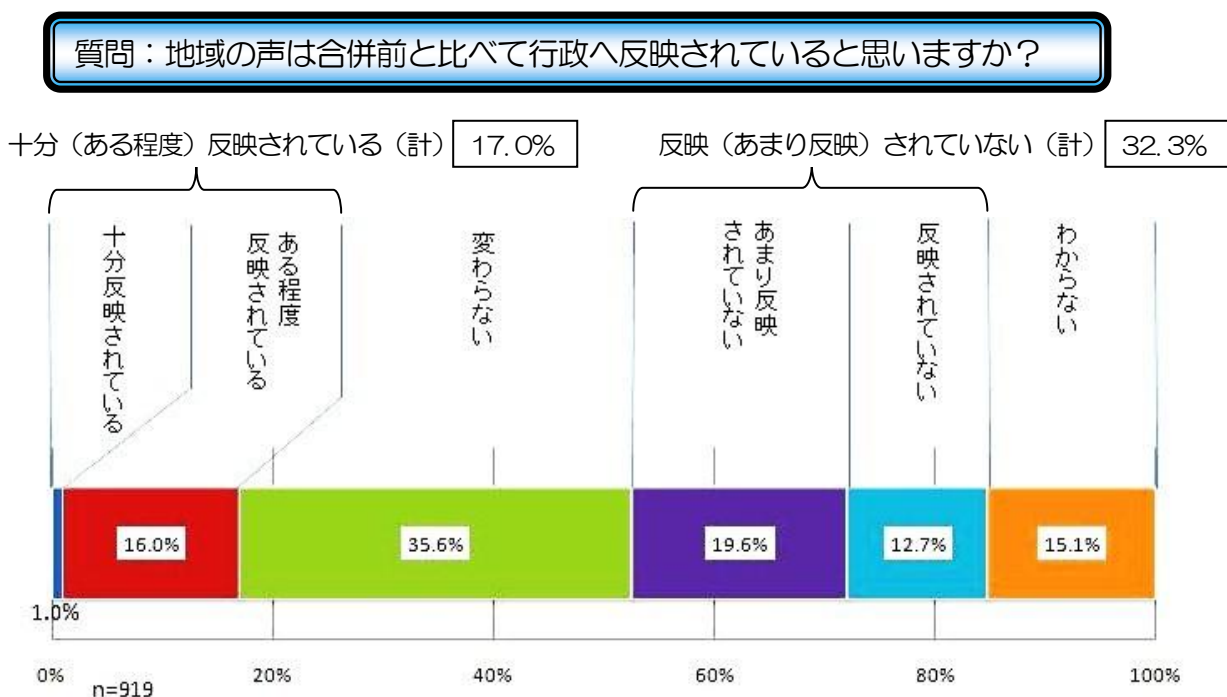
「埼玉県県政サポーターアンケート」結果によると、【あなたは、現在お住まいの市町村が合併してよかったですか】との問いに対して「どちらともいえない」との回答が30.3%、【市町村合併の効果は現れていると思いますか】との問いに対しては「わからない」との回答が35.8%と、比較的大きな割合を占めている。

これらのことから、本県の市町村合併は一定の成果を上げつつも、住民にとって、その効果が十分に認識されるには至っていない状況が伺える。

また、【地域の声は合併前とくらべて行政へ反映されていると思いますか】との問いに対しては、「十分反映されている」・「ある程度反映されている」が17.0%であるのに対して、「反映されていない」・「あまり反映されていない」が32.3%と、マイナスの評価が上回っている。

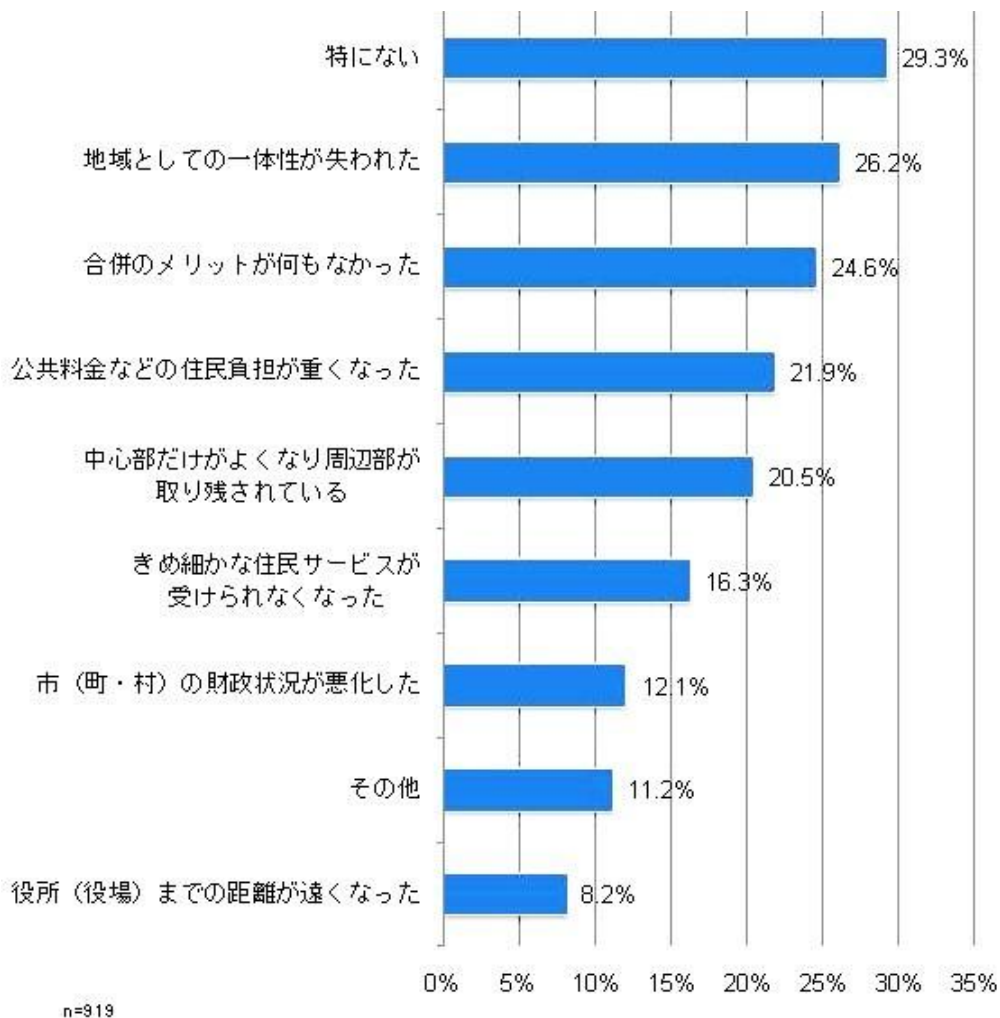
次に、【合併してよくなかったと思うことはなんですか】との問いに対して、「地域としての一体性が失われた」点を指摘する声が26.2%となっている。

図表 26



図表 27

質問：合併してよくなかったと思うことは何ですか？（あてはまるものすべて）



合併市町では、引き続き広報紙やホームページ等を通じた合併効果の周知に努めるとともに、住民の声を反映したまちづくりを、新市町の一体性の醸成ということに配慮しながら進めていく必要がある。

そのためには、首長をはじめとした行政と住民のコミュニケーションの更なる拡大に取り組むとともに、地域住民の誰もが共通に認識できる、わかりやすい「テーマ」を設定し、旧市町村の枠を超えた新たなまちづくりを展開していくことが有効である。

例えば、「花」をテーマにしたまちづくりを進めている深谷市や鴻巣市、「森林文化都市」宣言を行い、豊かな森林資源をまちづくりに活かしている飯能市、年間快晴日数日本一や暑さをテーマにした取組を進めている熊谷市などがその好例と言える。

また、今回の合併を通じて、地域住民の合併市町政への関心が高まっていることを考え合わせると、協働事業といった「参加型」の施策を積極的に展開することで、広く地域住民とまちづくりの過程を共有していくことが必要である。